

| | | | | | | | |
|---|--|-----|------|--------------|-----------------|-------|----|
| 授業科目 | まちづくりマネジメント特講 Area Promotion Management | | | 担当教員 | 熊谷 賢哉・大島 啓 ※檜 貢 | | |
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 2 単位 | 開講年次・時期 | 1・2 年／前期 | 必修・選択 | 選択 |
| 授業のねらい | | | | | | | |
| <p>テーマ：地域のまちづくり</p> <p>到達目標：地域の自然や住民の営みで築かれた産業・歴史・文化などの地域資源は、まちづくりに不可欠な要素である。この授業では、住み良い地域のまちづくりのあり方を、理論的考察や事例検討を通じて理解する。</p> | | | | | | | |
| 観点 | 学生の授業における到達目標 | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | | |
| 関心・意欲 ・態度 | 地域の自然や産業、歴史や文化に関心を抱き、学修に意欲的に取り組むことができる。 | | | 授業態度・課題の取り組み | 10% | | |
| 思考・判断 | まちづくりに不可欠な地域の特性や問題点を見出す思考力を養うことができる。 | | | レポート | 30% | | |
| 技能・表現 | まちづくり計画の策定と運営の基本的手法を身につけることができる。 | | | レポート | 30% | | |
| 知識・理解 | 地域のまちづくりに関する自然科学や人文・社会科学の専門知識を修得できる。 | | | レポート | 30% | | |
| 出席 | | | | | | 受験要件 | |
| 合計 | | | | | | 100% | |
| 評価基準および評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| 評価は、レポート 90 点（3 名の教員各 30 点）、授業態度・課題の取り組み 10 点（総合的判断）とする。 | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| <p>授業は 3 名の教員によるオムニバス方式で行う。</p> <p>大島：テーマ「ソーシャルワークとナラティブ・アプローチ」 ソーシャルワークのあり方を、ナラティブ・アプローチの可能性の観点から考察する。</p> <p>檜：テーマ「地域社会の未来をつくる」 わが国の地域社会は人口減少と技術革新に挑発されている。その断面を確認し、中長期的視点と対応による総合的まちづくりの課題とあり方を考える。</p> <p>熊谷：テーマ「地域住民の健康維持増進によるまちづくり」 地域住民の健康状況について把握した上で、その阻害要因、身体活動による維持増進対策について明らかにする。</p> | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| <p>教科書：授業に関連する図書を指定する。また、必要に応じて資料を配布する。</p> <p>参考書：授業で紹介する。</p> | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| 地域の現象や事実を客観的に分析し、普遍性と地域性を見出す研究能力を身に付けてほしい。そのためには、多くの学術論文を読むとともに積極的に現地調査を行う必要がある。 | | | | | | | |

| 回 | テーマ | 授業の内容 | 予習・復習 |
|----|--------------------------|---|--|
| 1 | ナラティブ・アプローチとは何か (大島) | ナラティブ・アプローチの視座や種類、疑問点、およびこの視座に基づくソーシャルワークの可能性について説明する。 | 予習：ナラティブ・アプローチの概念 復習：ナラティブ・ソーシャルワークの構築 |
| 2 | 困難事例を支援する (大島) | 事例検討を通じて、「無知の姿勢」や「問題の外在化」など、ナラティブ・アプローチの技法上の特徴を理解する。 | 予習：「無知の姿勢」や「問題の外在化」の概念 復習：従来の方法論との違い |
| 3 | 地域の多問題家族を支援する (大島) | 認知症患者や不登校児の物語を紡ぐことを通じて、地域社会における対等な支援の可能性を探る。 | 予習：多問題家族について 復習：従来の方法論との違い |
| 4 | 当事者やグループで支えあう (大島) | 問題の外在化、語り直し、分かち合いなどの技法を通じて、当事者と専門職との協働のあり方を探る。 | 予習：当事者の定義について 復習：従来の方法論との違い |
| 5 | コミュニティの物語を紡ぐ (大島) | 地域支援を「物語」としてとらえ、「地域の物語」を、書き換え、守り、それに寄り添う方法論を問う。 | 予習：ナラティブ・アプローチのコミュニティへの適応 復習：地域福祉の実践例 |
| 6 | ナラティブ・データを分析する (大島) | ナラティブ・データのテキストマイニングによる分析の実際を、基礎と応用の観点から検討する。 | 予習：テキストマイニングの手法 復習：エビデンスとしてのナラティブ |
| 7 | 人口減少と地域社会の変化 (檜楨) | 人口減少が引き起こしている地域社会の実態を確認し課題を明確にする。 | 予習：河合雅司「未来の年表」(講談社現代新書)を事前に読んでおく。 復習：人口減少の実態 |
| 8 | 技術革新の地域社会へのインパクト (檜楨) | 生産から生活に至る技術革新への動きを明らかにし、地域社会へのインパクトとその課題を考える。 | 予習：AI、IoT等の技術革新の実態を整理しておくこと 復習：レポート作成 |
| 9 | 未来形成における住民対応 (檜楨) | 佐世保市を中心とする地域社会の課題を確認し、その対応方策を考える。 | 予習：山崎亮「縮充する日本」(PHP選書)を事前に読んでおく。 復習：都市の未来をまとめる |
| 10 | 総合計画のまちづくり (檜楨) | 総合計画のあり方と進め方を学び、まちづくりのマネジメントの方向を考える。 | 予習：7、8、9の講義内容を整理しておく。 復習：広域的連携のしくみを整理する |
| 11 | 日本人の健康状況 (熊谷) | 健康の概念を明らかにした上で、日本人の寿命、死因、介護が必要となった原因等について把握する。 | 復習：授業で課した課題(日本人の健康について)について考えてくる |
| 12 | 日本人の健康阻害要因 (熊谷) | 健康と生活習慣が密接に関連することを把握した上で、健康阻害要因として考えられる生活習慣について考える。 | 予習：レジюме(生活習慣について)を読んでおく 復習：授業で課した課題(生活習慣について)について考えてくる |
| 13 | 身体活動と疾病予防① (熊谷) | メタボリックシンドローム、認知症について各疾病の特徴について把握した上で、それらの疾病予防としての身体活動について考える。 | 予習：レジюме(メタボリックシンドローム、認知症について)を読んでおく 復習：授業で課した課題(メタボリックシンドローム、認知症について)について考えてくる |
| 14 | 身体活動と疾病予防② (熊谷) | ロコモティブシンドロームについてその特徴について把握した上で、その予防としての身体活動について考える。 | 予習：レジюме(ロコモティブシンドロームについて)を読んでおく 復習：授業で課した課題(ロコモティブシンドロームについて)について考えてくる |
| 15 | まとめ (大島) | 住み良い地域のまちづくりのあり方について、3名の教員の課題レポートを執筆する。 | テキスト・資料・ノートを用いての復習 |